

2017ブロックエンデバー 指導者講習会

2018/2
JBAユース育成部会

- スポーツ指導における**暴力・暴言**を絶対に認めない
- 育成コーチングフィロソフィ
 - **育成世代の勝利**=結果を取ることが最優先でなく技術を与えること
 - **LTAD**の理解
 - **人格形成**に大きな影響
- 年代別トレーニング内容で考慮すべき点
- 育成年代の指導内容
- 練習方法論
 - **認知判断を伴う練習の割合**を増やす
- コーチングテクニック
 - 考えさせる問いかけ=主体性を育む
- 育成環境整備

- スポーツ指導における暴力・暴言を絶対に認めない

- プロへの移行
 - > より精度の高い技術・戦術の理解・習得

 - > 精神的準備

 - > 身体的準備

■ どのような選手を選出すべきか

1. 強い意志を持つ選手
2. 深いナショナルプライド
3. 自信:どのように指導され、どのような準備ができたかによる
※リスクを取る選手:怖がらずにがんがんいく選手（コントロールすればよい）
4. 高いゲームIQ 闘争心 知性
5. 前向きな態度・感情
6. 戦う姿勢
7. ディフェンスマインド:トップレベルでは失点の少ないゲームが求められる
8. 特別なスキル（役割）:高いレベル（国際レベル）でできる何か

運動学習能力（コーディネーション）、運動能力、意志・意欲

■ 発掘の流れ

■ 発掘に協力しない指導者に対して

■目的：マルファン症候群の啓発，緊急対応時の整理

■保護者向け配布

- 1) ブロックエンデバーにおける問診票配布・同意書記入のお願い
- 2) ブロックエンデバー問診票
- 3) 「マルファン症候群は、突然死を起こす可能性がある疾患です」
- 4) ブロックエンデバー参加同意書

■参加指導者向け配布

- 5) マルファン症候群の理解促進に関するお願い
- 6) 「マルファン症候群は、突然死を起こす可能性がある疾患です」 (上記 (3) と同様)

■ブロックエンデバー運営者向け資料

- 7) JBAブロックエンデバー緊急対応カード
- 8) JBA傷病・事故報告書

- 素晴らしい人材がバスケット界にいる
- 日本の今の常識が世界の常識から遅れている認識
- スポーツのパフォーマンスはさらに向上させることができる

■変更点：①②はU15カテゴリーのみ、③はU12U15カテゴリーの両方において変更

①マンツーマンディフェンスを行っている前提において、予測に基づくプレーとコミッショナーが判断した場合は、基準規則違反とは見なさない。

②ボールを保持しているプレイヤーへのトラップは許される。

③制限区域内において、予測に基づいてボールを持っていないオフェンス側プレイヤーをトラップすることは許される。